

元気に躍動！子どもたち 町内各地で運動会開催

5月16日から26日にかけて、町内の各小学校では、運動会が開催され、子どもたちの元気な姿が見られました。晴天に恵まれた25日には、山田南小学校（三浦秀行校長、児童157人）で大運動会を開催。赤組と白組に分かれた子どもたちは、徒競走や玉入れ、綱引きで元気に競い合いました。その他、全校生徒による虎舞も披露され、会場は大盛り上がり。最後には、全員リレーが行われ、追い抜き、追い越され白熱したレースには、会場から大きな拍手と声援が送られていました。



被災した海藻標本650点が帰還 熱意と善意により修復

6月16日、東日本大震災により被災した鯨と海の科学館の海藻標本のうち、650点が帰還しました。修復したのは、国立科学博物館の北山太樹さん。同館は被災前年に吉崎誠^{まこと}東邦大学名誉教授から海藻標本約8万点の寄贈を受けましたが、寄贈から4日後に全てが流出。町内外からのボランティアにより標本の救出作業が行われ、約1万点が岩手県立博物館に仮保管されています。北山さんは同日、標本レスキューの意義について講演。「一区切りついたが、今後も協力していきたい」と熱意を語りました。



気軽に立ち寄れる場に 「ひなたぼっこ」駅前へ

6月3日、山田町社会福祉協議会（箱石紅子会長）が、三陸鉄道陸中山田駅前の共同店舗棟オールの一角に、地域福祉活動の拠点「ひなたぼっこ」を移転開所しました。開所式では、箱石会長が「住民の憩いの場や悩みの解消の場として、震災後のコミュニティーの問題に取り組んでいきたい」とあいさつし、くす玉割りで祝福しました。

「ひなたぼっこ」には、同協議会職員が常駐し、月曜日から金曜日まで、時間は午前10時から午後4時の間、無料でいつでも立ち寄り、雑談や相談ができます。



きれいな山田町を目指し 約30人が河川清掃実施

6月2日、心の絆の会（阿部吉衛会長）が、関口川の清掃活動を行いました。活動は昨年に引き続き2回目で、この日は陸中山田ライオンズクラブや自衛隊員など約30人が参加。草刈りやごみ拾い、流木の撤去などを行い、トラック1台分のごみを処理しました。阿部会長は「2年前は大量の流木で、川が流れない状態だった。また、草が生い茂ると不法投棄も増える」と活動の意義を強調しました。

私たちの心が一つで無くなる不法投棄。きれいな山田町にするため、ごみの適切な処理をお願いします。



町のわだい

今月の題字 花崎 哲平君 (荒川小2年)



オリンピアン7人が一堂に
スポーツを通じ笑顔で交流

6月15日、山田町B&G海洋センターでオリンピックデー・フェスティバルinやまだが開催されました。これは、日本オリンピック委員会が主催した東日本大震災復興支援事業の一つで、オリンピアン7人と交流できるイベント。参加したのは、町内の子どもとその保護者72人で、手つなぎ鬼や玉入れなどを通して、オリンピアンと共に汗を流しました。また、質問コーナーも設けられ、自分が行う競技についてやスランプへの対処法などを紹介。参加者は、オリンピアンとの交流を通して、スポーツをする楽しさやすらしさを感じていました。

地域の農業を学ぶ 豊間根小学校で田植え体験

5月28日、豊間根小学校（倉澤和広校長）では、5年生21人が田植え体験を行いました。これは、子どもたちに地域で行われる稲作を学んでもらうために、木村良一さんの協力で毎年行われているものです。木村さんから指導を受け、なれない泥の足場に苦戦しながらも、一生懸命に苗を植える子どもたち。作業を終えると合図に合わせて一斉に走りだし、田んぼの運動会が行われ子どもたちは泥だらけになっていました。今後子どもたちは、稻刈りや脱穀などの体験を通して、地域の水稻栽培を学んでいきます。

